

# 営農相談員による 研究成果発表会を開催

2月10日、第19回営農相談員研究成果発表会を行いました。



今回は各営農生活センターから8人が参加し、プロジェクターを用いて説明。営農技術や農家所得向上を目指し、テーマ別に取り組んだ1年間の研究を発表しました。

JAグループ和歌山農業振興センターの本田孝志技術参与、和歌山県海草振興局農林水産部農業水産課の宮向克則課長、各作物別部会長が出席し審査を務めました。

## 【最優秀賞】

海南営農生活センター 宮脇敏彰

「営農購買サポートシステムを利用した共販拡大への取り組み」

JAながみねの掲げている3か年計画の一つ、「販売高40億円」を達成するためには共販拡大が必要不可欠です。営農相談員は営農購買サポートシステムを活用し、個人出荷を行っているJAとの肥料や農薬の利用度が比較的低い組合員をターゲットにリストアップ。何度も訪問を重ね営農指導・情報提供等を行い、肥料・農薬の利用促進と同時に、部会への加入促進を促すことの重要性を示しました。

## 【優秀賞】

しもつ営農生活センター 井上一

「下津管内における普通温州の優良系統探索調査」

## 【努力賞】

しもつ営農生活センター 土谷賢太郎

「下津管内におけるチャノキイロアザミウマの薬剤効果試験及び取り組み」

## 料理コース

2月12日、男の道楽塾（趣味コース）を開催しました。



海南省海口市船尾にある「うるわし館」で蒔絵体験を行い、今回は、花や蝶の下絵が書かれた丸盆に蒔絵を施しました。下絵にのりを塗り、用意された7色の金属粉の中から好きな色を選び、色付けを行いました。細かい作業で大変でしたが、華やかなお盆が完成しました。

参加者は「初めて蒔絵をしたが、我ながらうまく出来た」と話しました。

## みかんの剪定講習会

2月15・16日、マルカイみかん部会で剪定講習会を行いました。



この時期の剪定は、高品質生産に向けた必要な作業。海南省の5か所で開催した講習会には生産者40人が参加し、講師は同JA海南省農生活センターの宮脇敏彰営農相談員が務めました。

剪定講習は生産者の園地で実演を交えながら解説。剪定のポイントとして、令和3年度は裏年と予想されるため、結果母枝を大事にした剪定で切りすぎないことを注意するよう指導し、昨年の栽培を踏まえた防除指導等も行いました。剪定は休眠期となる12月～3月中旬まで行います。

## しもつ女性会農業塾

2月22日、女性会しもつブロックで農業塾を開催しました。



同サークルは、長年農業に携わっている方や、これから本格的に始める方にも、今の時代に合った農業を勉強してもらうことが目的で、今期は10人が入塾し、みかんの摘果や剪定講習、試験場の見学などを行いました。

最終回となった今回は、井上一営農相談員による剪定講習を実施し、プロジェクターや資料を用いて剪定のポイントを指導した後、園地へ移動し実演を交えながら解説しました。

講習終了後は閉講式が行われ、垣内隆宏センター長から修了証が1人1人に手渡されました。